



FU-4 商品 No. 5504

●【不織布】**富士三十六景 駿河薩夕の海上(歌川広重)**

■サイズ=88cm×31cm ■名入印刷寸法=6cm×18cm

■化粧箱=小 ■名入刷色=黒

「富士三十六景」は広重が没する安政五年(1858年)に制作されました。縦長の画面を生かす俯瞰図法を用い、奥行きを広く取って遠近感を出したり、近景のモチーフを拡大して描く「近像型構図」を用いた画面構成が斬新な作品です。

#### プロフィール

うたがわ ひろしげ

歌川 広重(初代)(1797~1858)

江戸時代の浮世絵師。江戸の定火消し、安藤家に生まれ家督を継ぎ、その後に浮世絵師となつた。本名は安藤重右衛門。文化8年(1811年)歌川豊広に入門。「安藤広重」と呼ばれたこともあるが、師と自分から一文字ずつとって歌川広重の名を与えられた。初めは役者絵から出発し、やがて美人画や風景画を主に制作した。主な作品に「東海道五十三次」「名所江戸百景」などがあり、ゴッホやモネなどの西洋の画家にも多大な影響を与えた。

「富士三十六景 駿河薩夕の海上」

歌川広重 画

通常名入位置はここになります。



FU-5 商品 No. 5505

●【不織布】**光園美人 秋日和**

■サイズ=88cm×31cm ■名入印刷寸法=6cm×18cm

■化粧箱=小 ■名入刷色=黒

上村松園に師事し、美人画の描法を学んだ女性画家が描く美人画に共通する優雅なしぐさや穏やかな表情は、光園が理想とした日本女性のたおやかな美しさが表現されています。

#### プロフィール

さとう こうえん

佐藤 光園(1903~1960)

愛知県で生まれ京都で活躍した日本画家。本名は千代子。女性でありながら美人画の大家である上村松園に師事し、続いて菊池契月に時代風俗画を学ぶ。数多くの美人画を手掛け、師譲りの清楚で内面的な強さを美しく表現している。東京三越・京都高島屋・日赤本社他・海外などで個展を多数開催。